

バチルス属由来のキシランリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0925

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、キシランリラーゼ（EC 4.2.2.12）は、ポリサッカライドであるキシランのβ-D-マンノシル-β-D-1,4-グルクロンシル結合を切断する化学反応を触媒する酵素です。この酵素は、ポリサッカライドに作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。キシランリラーゼは1987年に最初に同定され、部分的に精製されました。

別名 キサンタンリパーゼ; EC 4.2.2.12

製品情報

由来 バチルス属

形態 液体

EC番号 EC 4.2.2.12

CAS登録番号 113573-69-6

分子量 ~ 81.6kD

活性 ~ 3,035 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 6.0および40°CのHEPESバッファー中で、キシランガムに作用して1分あたり1.0の吸光度の増加を引き起こすのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C